

# 2015年度中間期の連結決算概要

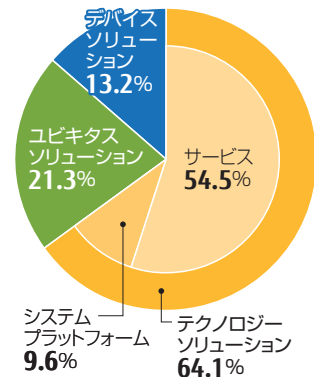
詳細は、当社ホームページ(<http://pr.fujitsu.com/jp/ir/finance/>)に掲載の「2015年度 第2四半期 連結決算概要」をご参照ください。

## 2015年度中間期連結業績

### 決算ハイライト(単位: 億円)

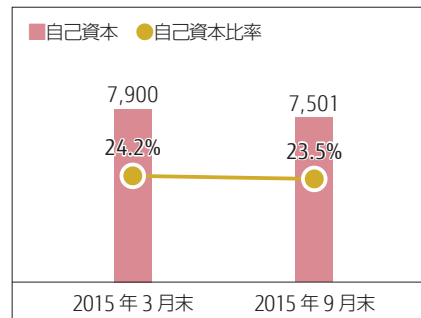
	2014年度中間期	2015年度中間期
売上収益 (海外売上比率)	21,928 (40.5%)	22,412 (41.7%)
営業利益	322	△ 124
当期利益	241	△ 159
フリー・キャッシュ・フロー	△ 47	△ 390

### 売上比率

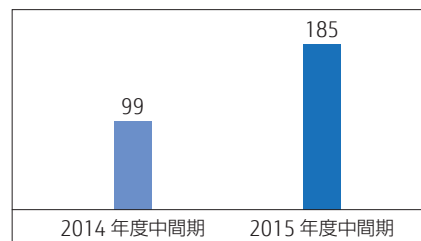
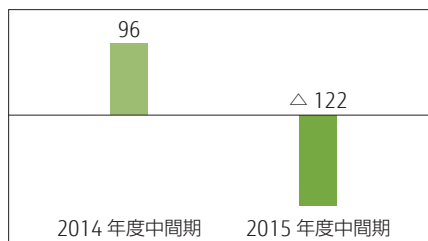
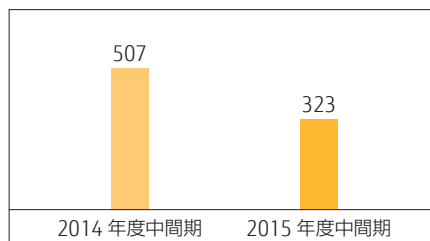


\* 売上収益はセグメント間の内部売上収益を含みます。

### 自己資本比率(単位: 億円)



### セグメント別営業利益(単位: 億円)



### テクノロジーソリューション

● テクノロジーソリューションは、減益となりました。サービスは、システムインテグレーションが金融分野や公共分野で顧客の投資拡大により増収となった効果があったものの、一部の国内子会社で退職給付制度移行に伴う一時的な費用負担があったほか、ISP事業の拡販費用の増加がありました。システムプラットフォームは、ネットワークプロダクトが顧客投資の端境期にあり、減収となった影響に加え、国内ネットワーク事業の従業員の再配置等に係る一時費用約50億円の負担がありました。

### コピキタスソリューション

● パソコンがOSの製品サポート終了に伴う買い替え需要が前年度の第1四半期で一巡し減収となった影響を受けたほか、米国ドルに対しユーロ安、円安が進行したことにより欧州および国内拠点で米国ドル建の部材調達コストが上昇した影響があり、また、携帯電話の一部機種で発生した不具合の対策費用の負担があり悪化しました。

### デバイスソリューション

● LSIがスマートフォン向けを中心に増収となった影響のほか、米国ドルに対し円安が進行したことにより、LSI、電子部品ともに、米国ドル建の輸出売上が増加した影響があり増益となりました。

### その他/消去又は全社

● IoTの活用基盤としての次世代型クラウドや、未来医療などの分野で戦略投資を拡充しました。

### 株式の状況(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	5,000,000,000株
発行済株式の総数	2,070,018,213株
資本金	324,625,075,685円
株主数	163,952名(前年度末比10,853名増)

### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士電機株式会社	228,391	11.04
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	70,757	3.42
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	69,277	3.35
富士通株式会社従業員持株会	53,678	2.59
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	37,779	1.83
株式会社みずほ銀行	36,963	1.79
朝日生命保険相互会社	35,180	1.70
ザバンクオブニューヨーク メロンエスエーエヌブイ10	32,329	1.56
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505225	30,621	1.48
ステートストリートバンクウエスト クライアントトリーティー505234	28,627	1.38

(注)富士電機株式会社および株式会社みずほ銀行の持株数には、退職給付信託としてみずほ信託銀行株式会社に信託され、資産管理サービス信託銀行株式会社に再信託された信託財産を含んでおります。